

令和5年6月9日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

No. 303(2023年6月)

■『銀座百点』2023年6月号「巻頭座談会」に当館スタッフが参加しました

銀座の街の魅力を紹介する月刊誌『銀座百点』2023年6月号「巻頭座談会」に、当館スタッフの武藤祥子が参加しました。『銀座百点』は昭和30[1955]年創刊の横長の小冊子で、銀座の老舗のレジ横などに置いてあるのを見かけた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。銀座の情報だけでなく、各界の有名人によるエッセイや座談会など、読み応えのある素敵な雑誌です。

6月号の座談会では、「街の知をささえて一図書館の楽しみ方」と題し、中央区立京橋図書館館長の五所和弘様、千代田区立日比谷図書文化館広報プロデューサーの並木百合様、そして武藤の三人が、それぞれの館の特徴や活動、資料の魅力について、10ページにわたり熱く語っております。銀座のお店を訪れた際にはぜひお手にとってご覧ください。

『銀座百点』HP：<http://www.hyakuten.or.jp/index.html>



月刊誌『銀座百点』2023年6月号表紙と「巻頭座談会」

■第97回所蔵資料ミニ展示「大阪松竹座開場100周年」関連資料紹介

6月28日まで開催中の、当館閲覧室ミニ展示「大阪松竹座開場100周年」。今回は、関連資料をご紹介します。

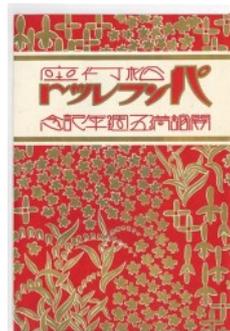
大阪松竹座は大正12[1923]年5月17日に開場式、翌日18日に初日を迎えました。関西初の洋式劇場、日本初の鉄筋コンクリート造りという豪華な劇場の初日プログラムは、松竹蒲田映画『母』、ドイツ映画『ファラオの恋』、松竹管弦楽団『英雄』、松竹楽劇部(後のOSK日本歌劇団)の『アルルの女』など、映画、管弦楽、レビューとさまざまなジャンルが揃ったモダンで画期的なものでした。

この大阪松竹座建設の発案者は白井松次郎で、双子の弟で当館の創設者でもある大谷竹次郎とともに松竹を創業した人物です。

当館の開館時には白井松次郎の約3千冊に及ぶ蔵書が当館に寄贈されています。

右の資料写真は、「松竹座パンフレット 開館満五週年記念」(昭和2[1927]年)で、白井松次郎の挨拶と写真、大阪松竹座外観写真などが掲載されています。

また、当時大阪松竹座では、映画やレビューなどの配役やあらすじなどが掲載



「松竹座パンフレット 開館満五週年記念」(昭和2年)
上:表紙/下:巻頭の右頁に白井松次郎の写真と挨拶文がある

目次:

『銀座百点』2023年6月号「巻頭座談会」に当館スタッフが参加しました	1
第97回所蔵資料ミニ展示「大阪松竹座開場100周年」関連資料紹介	2
所蔵資料紹介 -[6]「三越劇場新派公演」資料-	2
資料提供	3
新着資料案内	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
利用案内	4

された、無料のプログラムが週ごとに配布されていました。当館はこの「松竹座ニュース」を300部以上所蔵しています。上の写真は、開場の大正12[1923]年より昭和6[1931]年までの「松竹座ニュース」です。様々な人物の手によって描かれた表紙絵にはサインが記され、その中に舞台美術家で松竹座のポスターも手がけた山田伸吉の筆によるものもあります。中段の左3冊等が山田伸吉の表紙絵です。



「松竹座ニュース」(大正12年-昭和6年)

下の写真は、昭和6[1931]年-昭和8[1933]年の「松竹座ニュース」です。表紙に「S.P」の表記があり、これは「松竹パラマウント(松竹竹社興行社)」の略称です。



「松竹座ニュース(S.P)」(昭和6年-昭和8年)

そして右の写真は、映画上映専門劇場の頃の「松竹座ニュース」です。松竹楽劇部が「大阪松竹少女歌劇」と改称し、昭和9[1934]年8月に新装開場し



松竹座ニュース(昭和9年昭和13年)

た大阪劇場(大劇)へ本拠を移したことをきっかけに、大阪松竹座は洋画専門の上映劇場となっていきます。写真上段の表紙にある「SY」は「S・Yコンパニー(松竹洋画興行部)」の略称です。

「松竹座ニュース」は年代順に辿っていくと、映画だけでなくレビューや実演、舞踊、コンサートなど、様々な興行をおこなったことがよくわかり、貴重な一次資料です。

今回の展示は6月28日までとなっております。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

閲覧室ミニ展示「大阪松竹座開場100周年」

展示期間:2023年4/28(金)~6/28(水)/時間:平日10時~17時/休館日:土日祝日、毎月最終木曜日/展示場所:松竹大谷図書館 閲覧室 ※現在、展示は予約なしでご覧いただけます。松竹大谷図書館 TEL 03-5550-1694(平日:10時より17時) <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

■所蔵資料紹介 —[6]「三越劇場新派公演」資料—

松竹大谷図書館の所蔵資料を写真と共にご紹介するコーナー。今回は、今月6月新派公演が「新派百三十五年記念 六月新派喜劇公演」『三婆』として約3年ぶりに三越劇場にて開催されることにちなみ、当館所蔵の三越劇場新派公演資料をご紹介します。

昭和2[1927]年に「三越ホール」として日本橋三越本店6階に誕生した三越劇場は、華麗で重厚な内装が開場当時そのままの美しい劇場です。戦火を免れた三越劇場は、終戦後昭和21[1946]年11月には再開し、歌舞伎や新劇、文楽、新派などの公演が行われ、演劇復興の一端を担いました。新派公演が三越劇場にて初めて上演されたのは、昭和22[1947]年9月の「新生新派芸術祭参加公演」で、花柳章太郎、大矢市次郎らが出演しました。下の写真は当時の公演プログラムです。



昭和22年9月三越劇場プログラム

本年令和5[2023]年に創立135年を迎える新派は、これまでも節目となる記念公演を三越劇場で行っており、近年は年3回のペースで、多彩な名作を数多く上演してきました。

この度の公演は、コロナ禍により三越劇場が一時上演を休止する前の「初春新派公演」(令和2[2020]年1月)以来、初めての新派本興行となります。

そこで今回は、三越劇場で上演された公演のうち、新派の周年記念公演プログラムと、有吉佐和子原作による作品の上演台本をご紹介します。

【記念公演プログラム】

左より

- 平成20(2008)年1月「新派百二十年記念初春新派公演」『新玉の寿』、『女将』プログラム
- 平成25(2013)年1月「新派百二十五年初春新派公演」『新派百二十五年記念 口上』、『木下恵介生誕百年 お嬢さん乾杯』プログラム
- 平成30(2018)年1月「初春新派公演 新派百三十年」『家族はつらいよ』プログラム



【有吉佐和子原作作品上演台本】

左より

- 『一の糸』昭和56[1981]年5月上演
- 『香華』平成22[2010]年8月上演
- 『ふるあめりに袖はぬらさじ』平成23[2011]年6月上演
- 『華岡青洲の妻』平成29[2017]年1月上演
- 『三婆』平成25[2013]年8月上演



これらの資料は当館閲覧室で閲覧可能ですので、ご希望の方は閲覧席をご予約ください(※前日までの予約制)。当館HPの「資料検索」で検索できます。

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

なお当館HPのデジタルアーカイブでは「新派上演年表(戦後)」データベースが公開中です。三越劇場での上演情報も検索できますのでぜひご利用ください。劇団新派HPからもご覧いただけます。

https://www.dh-jac.net/db/nenpyo/search_shinpa.php

資料提供 (2023年3月~5月)

※許可を得た方のみ掲載しております

【展示】2023年4月1日~2024年3月31日 菊田一夫記念館 常設展示に映画『鐘の鳴る丘』ポスター(複製)を提供/特別展「生誕120年 没後60年 小津安二郎展」2023年4月1日~5月28日 神奈川近代文学館 映画スクラップ『お茶漬の味』『秋日和』を提供/「十二世市川團十郎十年祭 特別展」2023年5月2日~27日 歌舞伎座ギャラリー 『若き日の信長』・十二世市川團十郎関係資料を提供

【出版】『日本史探究 高校日本史』2023年3月4日 山川出版社 『舞台之團十郎』より『暫』を提供/『OSK日本歌劇団100周年誌 桜咲く国 OSKレビューの100年』2023年3月 OSK日本歌劇団 『国際おどり 衣装控付舞台スケッチ』を提供/『歌舞伎特選DVDコレクション第95号』2023年4月5日 アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「歌舞伎双六」を提供/岩井眞實『伝統演劇の破壊者 川上音二郎』2023年4月10日 海鳥社 「川上音二郎・貞奴一座欧米公演関係資料アルバム」を提供/『歌舞伎特選DVDコレクション第97号』2023年5月3日 アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に『宇野信夫戯曲選集』を提供/『松竹グループ社報 235号』2023年5月30日 松竹株式会社 『五世尾上菊五郎』より『勸進帳』、歌舞伎座筋書を提供/『歌舞伎特選DVDコレクション第99号』2023年5月31日 アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に『歌舞伎年代記』を提供

【プログラム掲載】「壽祝桜四月大歌舞伎」2023年4月 明治座 千歳座辻番付を提供/「市川猿之助奮闘歌舞伎公演」2023年5月 明治座 『演劇界』より『不死鳥よ波濤を越えて』『御最眞繫馬』を提供

【その他】歌舞伎座新開場10周年記念「歌舞伎座レトログッズ」2023年4月5日~(第一弾)・5月2日~(第二弾) 歌舞伎座1階お土産処「木挽町」・オンラインストア他で発売 歌舞伎座筋書・チケット袋を提供

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系5月演劇公演資料		○…受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『寿曾我対面』	○	○		
	『若き日の信長』	○	○		
	『音菊眞秀若武者』	○	○	○	○
	『宮島のだんまり』	○	○		
	『達陀』	○	○		
	『梅雨小袖昔八丈 髪結新三』	○	○		
新橋演舞場	『俺たちのBANG!!!大劇場を占拠せよ』			○	○
	『第九十八回 東をどり』			○	
明治座	『不死鳥よ波濤を越えて』	○		○	
	『御最眞繫馬』	○			
南座	『春の舞台体験ツアー』				
	『歌舞伎の講釈』	○		○	
	『妹背山婦女庭訓 願絲縁苧環』	○			
	『舟木一夫シアターコンサート in 南座』			○	
松竹座	『道頓堀 松竹座 映画祭』			○	○
	『花ざくろ』	○		○	○
	『三味線に惚れたはなし』	○			
	『俺たちのBANG!!!大劇場を占拠せよ』			○	○
平成中村座 (姫路城)	『播州皿屋敷』	○			
	『翫賣戀曳網』	○		○	
	『棒しばり』	○			
	『天守物語』	○			

場プログラム/『キングダム』帝国劇場プログラム/『Endless SHOCK』帝国劇場プログラム/『DREAMGIRLS ドリームガールズ』東京国際フォーラムホールCプログラム/オールスタッフプロデュース『ミュージカル ピエタ』俳優座劇場プログラム、台本/『第44回舞踊・邦楽公演』国立劇場小劇場プログラム/『第170回文楽公演』国立文楽劇場プログラム、床本

◆映画プログラム (順不同) 『劇場版 推しが武道館いってくれたら死ぬ』『マンダロリアン シーズン2』『ノック 終末の訪問者』『ノートルダム 炎の大聖堂』『ハロウィン THE END』『ザ・ホエール』『search #サーチ2』『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』『名探偵コナン 黒鉄の魚影』『劇場版TOKYO MER 走る緊急救命室』『デスパレート・ラン』『クリード 過去の逆襲』『書かれた顔 4Kレストア版』『ブラック・デーモン 絶体絶命』『雄獅少年 ライオン少年』『アイ・アム・グレート』『岸辺露伴 ルーヴルへ行く』『ウーマン・トーキング 私たちの選択』『波紋』『65 シックスティ・ファイブ』『ワイルド・スピード ファイヤーズブースト』『劇場版 PSYCHO-PASS サイコパス PROVIDENCE』『最後まで行く』『アルマゲドン・タイム ある日々の肖像』『MEMORY メモリー』『TAR ター』『銀河鉄道の父』『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー:VOLUME 3』『銀河英雄伝説 Die Neue These 策謀 第三章』

◆演劇雑誌 (順不同) 『AAC』Vol.116/『Confetti』2023年 June/『JPL』No.88/『act guide [アクトガイド]』2023 Season 15/『あぜくら』2023年4月号、5月号/『えんぶ』2023年6月号/『ほうおう』2023年7月号/『エンタプレス』Vol.1/『シアターアーツ』67号/『ステージぴあ』2023年5+6月号/『テアトロ』2023年6月号/『ミュージカル』2023年5月-6月号/『ラ・アルプ』2023年5月号/『演劇映像』64号/『演劇博物館報』Vol.119/『喝采』2023年8月/『紀尾井だより』158号、159号/『劇評』13号、14号/『月刊前進座』793号-801号/『国立演芸場公演ガイド』令和5年5月号/『座・高円寺』No.29/『大向う』令和5年5月号/『日本芸術文化振興会ニュース』2023年6月号/『日本照明家協会誌』2023年5月号/『日本舞踊』75巻5月号、6月号/『悲劇喜劇』2023年5月号/『文学座通信』Vol.734-Vol.765/『邦楽の友』令和5年4月-5月号/『民藝の仲間』736号-749号、2023年特別号、751号

◆映画雑誌 (順不同) 『FLIX』2023年6月号/『SCREEN』2023年7月号/『TVガイド』2023年4/14号、4/21号、4/28号、5/5号、5/12号、5/19号、5/26号、6/2号/『おとなのデジタルTVナビ』2023年6月号、7月号/『キネマ旬報』2023年増刊キネマ旬報NEXT Vol.48、Vol.49、6月上旬号、6月下旬号/『クラシック映画ニュース』No.714/『シナリオ』2023年6月号、7月号/『シナリオ教室』2023年5月号、6月号/『ドラマ』2023年6月号/『ピクトアップ』2023年6月号/『ロケーションジャパン』2023年6月号/『映画テレビ技術』2023年5月号、6月号/『映画芸術』483号/『映画撮影』No.235/『映画時報』2023年4月号/『活狂』No.176-No.192/『松竹[社報]』235号/『日経エンタテインメント!』2023年5月号、6月号/『日本映画テレビプロデューサー協会報』No.493-No.505/『文化通信ジャーナル』2023年5月号、6月号/『民間放送』2193号-2215号

◆他社演劇公演資料 (2023年3月-5月) (順不同) ゴツプロ! Presents 『ブロッケン』新宿シアタートップスプログラム/プレオム劇『妄想先生』ザ・スズナリプログラム/テッピン『八人の悪逆』劇場MOMOプログラム/なないろ満月『そこ、つままないで』下北沢OFF・OFFシアタープログラム/ゆうめい『ハートランド』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/あやとり『そこに、いる』下北沢小劇場楽園プログラム/LiveUpCapsules『彼の男 十字路に身を置かんとす』シアターサンモールプログラム/プラチナエイト立体ドラマリーディング『真砂女』中野ザ・ポケットプログラム/ウォーキング・スタッフ『THE CLUB』下北沢シアター711プログラム/箱庭円舞曲『彼女も丸くなった』新宿シアタートップスプログラム/露と枕『わたつみ』下北沢「劇」小劇場プログラム/新派の子Salon De Marronさん・ド・まろん『波乃久里子を聴く宴』『明治の雪/太夫さん』MUSICASAプログラム/江戸糸あやつり人形結城座『荒御霊新田神徳』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/俳優座劇場プロデュース『聖なる炎』俳優座劇場プログラム/劇団東演『歌え!悲しみの深き淵より』俳優座劇場プログラム/『ザ・ミュージック・マン』日生劇場プログラム/『おかしな二人』シアタークリエプログラム/『SPY×FAMILY』帝国劇

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和5[2023]年5月にご支援いただきました

法人・団体(50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしく願い申し上げます。

当館は感染対策のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせて頂いております。

《現在のご利用について》(※2023年5月16日改定)

- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日10時～17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際はマスクの着用と手指の消毒のご協力をお願い致します。

《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(○月○日○時より○時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
[入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担)但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP●<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
公式Facebook●<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>